

当院での新型コロナ感染対策

—当院で PCR 検査が出来るようになりました—

1. 新型コロナ感染の可能性のある患者さん（疑い患者さん）の診療は、一般患者さんとの接触を避けるため、一般診療が終わった後 15 時以降に行っています。
2. 疑い患者さんは直接病院内には入れません。 院外の発熱外来スペースか自家用車の中で診療します。
3. 診察する医師・看護師は防護具を着用し、フェイスシールドかゴーグル、サージカルマスクか N-95 マスク、手袋をつけ診察し、採血します。
4. 新型コロナ感染が疑われる場合は、当院で抗原定性検査か PCR 検査を行います。
5. SpO2 が低下している場合、肺炎を発症している可能性があるため（通常のレントゲンでは診断がつかないので）CT を撮ります。
6. その際、疑い患者さんは院内の CT 室に入りますが、患者さんにはサージカルマスクを着けていただき、その入り口は南側玄関のみに限定しており、その間一般の患者さんがその入り口を使用できないように区域分け（ゾーニング）をします。当院には外部からの入り口が 4 カ所あるため、疑い患者さんの動線と一般患者さんの動線を完全に分けることができます。
7. 肺炎を発症している場合、新型コロナ肺炎である可能性があるため、当院で PCR 検査を行い、①PCR 検査が陰性の場合、通常の肺炎として当院で入院治療を行います。②PCR 検査が陽性の場合、新型コロナウイルスによる肺炎と考えられるため肺炎の重症度に応じて、入院先を決定します。
8. 肺炎になっていない場合は当院で外来通院治療を行います。
9. 患者さんの診療が終了した後は、1 階の入り口 4 カ所（東、西、南、北）を全て開けて換気をし、CT 室の環境消毒も行います。

その他：

- ① 当院の外来待合スペースは患者さんが密にならないよう、一方向一列のみに なっており、向かい合う場合も 2m 以上の距離がとれるようになっています。
- ② 疑い患者さんの診療以外でも、空気の入れ替えのため、4 方向に開いた入り口 を定期的に開放しています。
- ③ 入院患者さんへの面会は事前に連絡していただき、濃厚接触歴等をお伺いし、体温を測定したうえでマスクを着用し、週 2 回、1 回 15 分以内で、病室ではなく病棟の談話スペースで行っていただいています。

（PCR 検査の結果はすぐには出ない場合もありますが、翌日までには結果が出ます。）

（2021 年 2 月～）